



つむぐ 紡ぐ

～みんなが元気に みんなが幸せに～

No.89 平成30年 7月26日
南教育事務所 社会教育班

あきたわくわく未来ゼミ

県生涯学習課では、高校生を対象とした学びの場の提供と学習習慣の定着を図ることを目的に、昨年度から全県3地区で放課後や長期休業中の学習支援を実施しています。県南地区では、秋田大学横手分校の協力を得ながら教員OBや大学生等に学習支援を依頼し、今年度は5月からスタートしました。会場は、横手市交流センターY²ぷらざです。



未来ゼミでは、開催日によって数学や理科の質問に学習支援員が答えることを中心に、自学自習の支援をしています。通常は毎週水曜日に開催し、日々の予習復習や定期考査対策、模擬試験の解説を行っています。特に定期考査期間中は、実施日を増やし、時間を延長して実施しているため多くの高校生が利用し、7月中旬現在で延べ209名が参加しています。「勉強する場所があって助かる。」「教えてくださる先生がいてありがたい。」といった声もあり、定期的に参加する高校生も増えてきました。長期休業中も対応しますので、高校生の学びの場所として定着し、高校生の学力向上の一助になってほしいと願っています。

あきたわくわく未来ゼミ

＜主催：秋田県教育委員会 協力：秋田大学横手分校 会場：横手市交流センターY²ぷらざ＞

学校側・保護者・金銭負担など、詳しくは実施した6月でいた。

7月も、勉強や遊びなど、各自好きな活動に取り組んでほしい。

そして、あきたわくわく未来ゼミでは、学習支援員がみんなの学習を支援します。

また、夏休み中は開館します。図書室として活用してください。

7月

日	月	火	水	木	金	土
6/24	6/25	6/26	6/27 (祝)	6/28	6/29 (祝)	6/30
			16:30 18:30		16:30 18:30	
7/1	2 (1時)	3 (0時)	4 (2時)	5	6	7
	15:15-17:45 (2時)	15:15-18:30 (2時)	15:30-18:30 (2時)	15:30 18:30		
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18 (3時)	19	20	21
			16:30 18:30			
22	23	24	25 (2時)	26	27	28
			15:00 18:00			
29	30	31	8/1 (3時)	8/2 (3時)	(0時) = 1階オープンスペース (1時) = 2階図書室 (2時) = 3階図書室	
			15:00 18:00			

※休日の予定は、秋田県教育委員会ホームページに掲載されています。

※休日の予定は、秋田県教育委員会ホームページに掲載されています。

※休日の予定は、秋田県教育委員会ホームページに掲載されています。

※休日の予定は、秋田県教育委員会ホームページに掲載されています。

※休日の予定は、秋田県教育委員会ホームページに掲載されています。

※休日の予定は、秋田県教育委員会ホームページに掲載されています。

※休日の予定は、秋田県教育委員会ホームページに掲載されています。

※休日の予定は、秋田県教育委員会ホームページに掲載されています。

※休日の予定は、秋田県教育委員会ホームページに掲載されています。

※休日の予定は、秋田県教育委員会ホームページに掲載されています。

※休日の予定は、秋田県教育委員会ホームページに掲載されています。

※休日の予定は、秋田県教育委員会ホームページに掲載されています。

※休日の予定は、秋田県教育委員会ホームページに掲載されています。

※休日の予定は、秋田県教育委員会ホームページに掲載されています。

県南ブックコミュニティ交流学習会

県南で活躍している読み聞かせボランティアの方々が一堂に会し、読み聞かせについて情報交換をしながら学ぶ交流学習会が、6月26日に横手市Y²ぷらざで行われました。



今回のテーマは、「“見せ方、読み方、選び方”の三つの観点で読み聞かせの基本を見直してみよう」です。前半の全体学習会では、3名の方々が観点毎の留意点に合わせて読み聞かせの演示をし、参加者全員で話し手の思いや考えを共有しました。後半は、三つのグループに分かれて持ち寄った絵本を中心に、“見せ方、読み方、選び方”について取組の様子を紹介し合いました。

学校では、ボランティアの方々による読み聞かせが行われていますが、子どもと本との出会いのきっかけをつくるのは大人の役割です。子どもの想像力や思いやりの心、そして豊かな感性を育む上でも読書はなくてはならないものです。読み聞かせボランティアの方々には、それぞれの活動を通して、読書の楽しさや喜びを伝えてほしいと思いました。

学校図書館活性化支援事業に係る 学校図書館訪問

学校における読書活動の推進を図るため、県生涯学習課読書推進班や教育事務所の担当者が学校を訪問し、学校図書館の運営や環境整備、校内推進体制について情報提供や助言をしています。県南では、すでに3校で実施しています。

訪問校では、子どもの読書量を増やす工夫や目に働きかける掲示物によって、本に親しむ環境づくりが積極的に行われていました。図書委員がパソコンで本の貸し出しを行っている姿からは、日常的な取組の様子も伝わってきました。本の並べ方や廊下・オープンスペースの活用、特設コーナーの設置等、専門的な助言を得ることで、学校図書館の更なる変容が期待できる訪問でした。



絵本に親しむ 6/17

大型絵本を使った楽しいおはなし会が、大仙市で開催されました。人気キャラクターのかいけつゾロリや「おまえうまそうだな」の絵本でおなじみのティラノサウルスの登場に、



<©宮西達也/ポプラ社>

参加した子どもたちは大興奮。キーボードの演奏にのせて繰り広げられる絵本の世界をたっぷり堪能していました。

午後からの塚本やすし氏によるおはなし会では、絵本の読み聞かせの他、子どもたちとのやりとりの中で絵を描いていくライブペインティングがありました。子どもたちは、自分たちとのやりとりの中で次第に絵が完成していく様子を目の当たりにし、わくわくした時間を過ごすことができました。親子で楽しむ素敵な絵本との出会い。絵本に寄せる思いがふくらんだひとときでした。

秋田県青少年劇場

古舘由佳子氏によるジプシーヴァイオリンコンサートが、7月5日に羽後町立三輪小学校で開催されました。古舘氏は岩手県出身で、各県の青少年劇場でも活躍している日本人唯一の本格派ジプシーヴァイオリン奏者です。子どもたちは、体育館に鳴り響くヴァイオリンの音に耳を傾けながら、ジプシー音楽の急激なテンポの展開や自由な表現を楽しんでいました。ジプシー音楽の説明や特徴的な奏法の紹介も組み込んだプログラムは、とても変化に満ちていましたし、子どもたちのすぐ近くに移動しながら演奏する場面では、食い入るように見つめて聴いている子どもたちの姿が印象的でした。



青少年劇場は、生の芸術にふれる絶好の機会です。

今後もこうした機会を通して、子どもたちの感性を豊かにしてほしいと思いました。

社会教育アドバイザーコラム

歯は一生のパートナー

社会教育アドバイザー 鈴木美津子

ある教育冊子を読んでいて、「子どもたちの虫歯がどんどん減っている」という文章が目にとまりました。平成29年度の学校保健統計調査によれば、治療済みを含む歯率は、小学校で47%、中学校で37%、高校で47%。私が小学生だった昭和40年代にはいずれも90%を超えていたのですから、まさに激減です。なぜこれほどまでに減少したのでしょうか。まずはフッ化物洗口の導入、小児医療助成制度の拡充、そして家庭や学校での歯磨きの習慣化等が挙げられるのだそうです。それでも他の疾患と比較すると、視力低下と並んで依然として多い疾患だということも分かりました。

私が通院している歯科医院の先生は、マイクロスコープで撮影した画像とパソコン上の資料で私の歯の現状を詳しく説明し、歯と口の健康を保つことの大切さを教えてくださいました。良く噛むことであごの骨や筋肉が動いて血液の循環が良くなり、それが脳細胞の活発な動きとなって脳の老化を防ぐのだそうです。平均寿命は長くなっても歯の寿命はそれに追いついていないので、継続した口腔ケアが必要になりますし、それが認知症の予防につながるということも、健康面のライフスタイルを考えるきっかけとなりました。

今後、予防歯科がますます発達し、学校と家庭で協力して子どもたちの口腔環境を守っていけば、更には歯率は下がっていくでしょう。では大人はどうすればいいのでしょうか。「80歳になっても自分の歯を20本以上保とう」という8020運動は、今年で30周年を迎えますが、歯と口の健康を保つことは食生活を豊かにし、快適な人生を過ごすことにもつながります。何かと時間に追われる毎日ですが、定期的に通院しながら自分でできる口腔ケアも継続し、一生のパートナーである歯を大事にしていきたいと思えます。

